

社員の皆様へのメッセージ

株式会社 イナテック

代表取締役社長 稲垣 良次

2020. 5
No.321

新型コロナウイルス感染症

愛知県緊急事態宣言

100年前のスペイン風邪以来の大パンニックを世界中で起こしているのが、この新型コロナウイルス感染症です。

去る4月7日に愛知県が『緊急事態宣言』を発出しました。その一部をご紹介します。

新型コロナウイルス感染症については全国で確認された患者数が大幅に増加し、本県においても4月上旬から患者数が急速に増加するとともに感染経路不明者も多く確認されるなど予断を許さない状況が続いている。

こうした状況を踏まえた愛知県は県民の皆様様の生命と健康を守ることを最優先に、あり

とあらゆる対策を講じることとし、この難局をオール愛知で乗り越えるため、市町村、団体、企業など、全ての皆様のご理解とご協力をいただく中で、新型コロナウイルス感染症に対する緊急事態を宣言する。

事業者の皆様へ

- 1、生活の維持に必要な場合を除き、不要不急の外出、移動の自粛を強く要請する。
- 2、やむを得ず外出する場合でも、「密閉」「密集」「密接」三つの密を避ける行いを徹底することを強く要請する。
- 3、日常生活の維持に必要な事業活動については、感染の防止対策に留意の上、継続を要請する。

我々イナテックも、早くから、この新型コロナウイルス感染症に対して対策を講じてきましたが、今回の「緊急事態宣言」を受けて更なる対策を実施いたします。

イナテックの見直し実施要領の最新版を『2020年4月16日発行、版数1、2にて発表しましたので徹底をお願いいたします。

“忘れられたパンデミック

“スペイン インフルエンザ”

2020年4月15日 日本経済新聞

およそ100年前、人類は史上最悪と言われる感染症パンデミックを経験した。それは世界人口の半数近くが感染。死者は最大で1億人と言われている。

1918年3月、米国カンザス州で始まり全米に広がった。感染はアジア・アフリカ・南半球に飛び火し、秋以降に世界的なパンデミックになる。これが第2波である。そして1919年初頭から春にかけて台波が襲いかかり世界をなめ尽くした。

各地の死者数は

欧州230万人、インド1850万人、
米国68万人、中国950万人、日本45万人
といわれている。

そしてパンデミックは1920年まで続いて終息に向かった。

日本では1918年10月頃から本格的な流行が始まった。感染は、ほぼ3週間で全国に広がったという。「医者という医者が、ほとんど

風邪で寝込んでしまつて動きができず、まだ壮年の医者が相次いで亡くなった。

日本の前流行(第1波)は1919年、夏前には収束したが、死者は25万7000人、当時の国民の40%が感染した。日本の後流行(第2波)は1920年に収束したが、死者は12万8000人だった。第1波、第2波の死者合計は、なんと38万5000人と発表されたが、これは過少評価とみて死者は45万3000人と試算している。

その時の教訓としては、やはり密閉・密集・密接環境が最悪の事態を招く結果となった。

やはり今回、日本国が発表した『全国緊急事態宣言』も、過去の“スペインインフルエンザ”の恐怖をふまえ、国が真剣に取り組み、全国民の協力が必要だと言つてことです。

新型コロナウイルスの行方

私感ですが、年末頃までには収束に向い“新型コロナウイルス”対策の新薬も開発され普及されると思っています。ただ、その条件としては、日本国民を始めとする全世界の人々が『蜜閉・蜜集・密接を避ける行いを徹底し継続すること』が大前提です。

それを遵守できなければ第2波、第3波が起き収束は大幅に遅れると考えられます。

一方、新型コロナウイルスが年末までに収束したとしても、リーマンショック後のように、すぐに景気回復という訳にはいかないと覚悟しておくべきだと心づもっています。

今日は世界中の様々な職業の多くの人々が感染したことで、世界中で生産・販売・サービスなどの経済活動が停止する事態に陥っています。

この為、働いている人は収入がなくなり支出ばかりです。職を失っている人も多勢いると思われます。その人たちの購買意欲を取り戻すには時間がかかると考えています。収束は今年後半としても景気回復は2021年末ぐらいと思つて対策すべきだと思っています。

イナテックにおいては、今まで出来ていなかった事を今改善し、確実に再発させないことです。それは奇をてらつたものではありません。

工程内不良・機械故障・在庫低減・外観検査の自動化・ロボット化・RPA化・物流改善etc. つまりTPS・TPM・TQCを徹底してISO・IATFで維持継続、向上させることしかありません。今ならまだ間に合います。

“新型コロナウイルス”という難局がイナテックを進化させるチャンスと捉え、グループ社員全員でやるべきことに取り組んでいきましょう。

八三

清能有容、仁能善斷、明不傷察、直不過矯。是謂蜜餞不甜、海味不鹹、纔是懿德。

潔白であるが、しかもよく人を容れる雅量があり、寛仁であるが、しかもよく決断力を持ち、明察であるが、しかも人のあら探しをせず、正直であるが、しかも並外れになることはない。このような人物を、砂糖漬でも甘すぎず、海産物でも塩からすぎることはないと言い、それでこそ立派な美德を持つと言える。